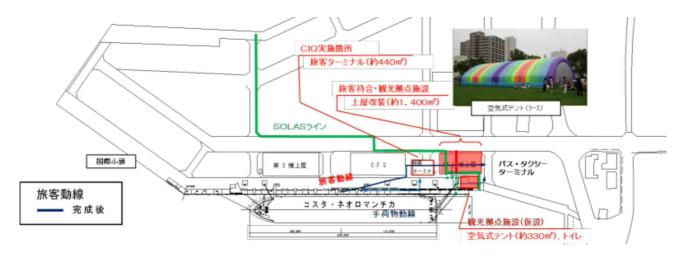
港湾事業事前評価調書

路線・河川等名				京都	舞鶴	為港		事業名	「海の京都駅(仮称)」 推進事業	補助・単独の別	単		
事	業	主	体	京	都	府	事業箇所	(区間)	舞鶴市字松陰地	内(第2ふ頭)			
事業概要	目 的			本事業は、京都舞鶴港が平成23年11月に外航クルーズ機能で日本海側拠点港に選定以降、クルーズ船の寄港が著しく増加している(H28:17回、H29:約40回[予定])ことから、クルーズ船のおもてなしのための旅客施設の人流機能の機能強化を図ることにより、地域経済の活性化に資するものです。									
	内		容	施設概要 ①施設用途:観光拠点整備(既存上屋の改装等) ②構造:鉄骨造・平屋建 ③延床面積:約1,416㎡ 事業費 1.37億円									
	上位計画等			舞鶴港港湾計画(平成25年12月改定)									
	スケジュール			着手年度:平成29年度 完成目標:平成30年度									
事業の必要性	事業を巡る 社会経済情 勢及び地元 情勢等			○京都舞鶴港は、平成23年11月に外航クルーズ機能で日本海側拠点港に 選定されたことから、今後、さらにクルーズ船の寄港が増加することが見 込まれる。									
事業の有効性		美の交 が費用 金等		○人沒	流機 i	能の機能	⊧強化を図	ることに	より、地域経済の	の活性化に寄与する	, o		
事業の効率性等	代 等 の 及 て	ス 孝 フ 戊 寛 子 育 良 形	上案 生性 子な						環境、廃棄物・! 実施する。	Jサイクルに配慮し	、出		
	総合評価			本事業は、人流機能の機能強化を図ることより、地域経済の活性化に寄与するものであることから、総合評価として事業実施の必要性が認められる。									

【位置図】



【計画図】



っ 『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		0 ->/\									
					作成年月日		平成29年5月2日				
					作成部署		建設交通部 港湾局				
事	業名	京都舞鶴港 「海	の京都駅(仮称)」推進事業	地区名		第2ふ頭地区				
概算	算事業費	1.37億円			事業期間		平成29年度~平成30年度				
事	業 概 要	クルーズ船乗客のおもてなしのための旅客施設を整備する。									
	旨すべき 環境像	地球温暖化(CO2排出量等)、大気環境、廃棄物・リサイクルに配慮し、出来るだけ環境負荷の少ない工事を実施する。									
	連する 共事業										
	評	価 項 目		 施工地の環境特	本と口油	I	明時記憶・開培創作の	環境			
	主要な	な評価の視点	選定要否			15	環境配慮・環境創造の ための措置内容				
地坡	地球温暖 等)	能化(CO₂排出量	0	・地球温暖化 量等)に配慮した 施する。	(CO ₂ 排出 工事を実	・ ア ちを	L事車両や建設機械の イドリングストップ う。	3			
地球環境	地形•地	質	_	1元9る。		(Z1.	J ノ。	_			
- 児 - 白	物質循環	(土砂移動)	_					_			
• 自然環境	野生生物]・絶滅危惧種	_					_			
境	生態系		_					_			
	その他		_					_			
	ユニバー	サルデザイン	_	・大気環境に配 事を実施する。	慮したエ	• ‡	非ガス対策型建設機械 使用する。	_			
	水環境•	水循環	_					_			
	大気環境	į	0	• 廃棄物・リザ 配慮した工事を	実施する。	進	建設副産物適正処理 美要綱」に即した計画、 そとする。	3			
生	土壌・地	盤環境	_			丁 戸 	₹ ⊂9る。	_			
生活環境	騒音•振	動	_					_			
児	廃棄物•	リサイクル	0					3			
	化学物質	粉じん等	_					_			
	電磁波•	電波・日照	_					_			
	その他		_					_			
2015	景観		_					_			
地域	里山の保	 <u> </u> 全	_					_			
地域個性•文化環境	地域の文	 :化資産	_					_			
	伝統的行		_					_			
	地域住民	 との協働	_					_			
	その他		_					_			
外 部 評 価 ②評価の結果を踏まえ特に留意すべき事項について記述											